八女西部広域事務組合
組合長　**近藤　廣康**

ごあいさつ

清潔で明るい生活環境をめざして、住みよい地域社会をつくることは、私たちの切なる願いであります。

昨今の急激な社会構造の変化に伴って、増加の一途をたどる一般廃棄物の適切な処理について、その環境整備は行政の最も重要な課題の一つであります。

このたび、懸案でありました最終処分場が、昭和62年度・63年度の継続事業として、ここに落成をみることができました。

この埋立処分場は、汚水の浸透を防止する遮水設備を施し、場内から浸出する汚水については活性炭による高度処理を行うようにいたしております。

本施設の建設に際しましては、とくにきめ細かな配慮と工夫をこらし、公害の防止には万全の装備を施し、公害のない衛生的で近代的な埋立処分場として誇り得る施設が完成のはこびとなりました。

今後は、この施設の円滑な運営と管理によって住みよい生活環境づくりに寄与できるものと確信いたしております。

本施設の建設にあたりまして深いご理解とご協力を賜りました地元の皆様をはじめ、地権者並びに関係諸官庁のご指導に対しまして、心から敬意と感謝を申し上げ、ごあいさつといたします。

平成元年３月

浸出液処理施設全景